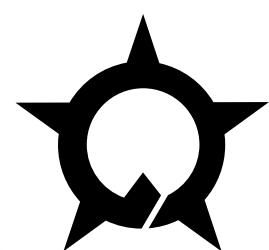


第五次大野市総合計画

後期基本計画

概要版



大野市



ひかりかがやき、たくましく、 心ふれあうまち越前おおのの実現

本市は、平成23年2月に市政の指針となる第五次大野市総合計画を策定し、平成27年度までの前期基本計画に基づき、これまで都市基盤の整備や定住促進など、さまざまな施策を推進してまいりました。

特に、長年の課題でありました中部縦貫自動車道や国道158号などの幹線道路整備促進、西部アクセス道路を含む亀山周辺整備、保健医療福祉サービス拠点施設や防災機能を備えた新庁舎の整備などを推進してまいりました。

また、地下水保全対策や湧水文化の再生、中心市街地活性化基本計画に基づくまちなかの活性化、環境に調和した越前おおの型農業の推進、そして豊かな森林資源の活用による持続可能な林業の推進に取り組むとともに、^{おおのびと}大野人の育成を図り、市民力や地域力を生かした市民総参加型の市政を推進してまいりました。

平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画の策定に当たっては、前期基本計画における市政推進に有効な施策を継続するとともに、地方創生・人口減少対策などの新たな施策の展開により、将来像「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

本計画の策定に当たりまして、貴重なご意見やご提言をお寄せいただいた皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、将来像の実現に向けた本計画の円滑な推進に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大野市長

岡田 高大



総合計画とは・・・

大野市の将来を展望し、まちづくりの目標と方向を明らかにした最上位の計画であり、長期的・総合的な市政運営の指針となる計画です。

また、まちづくりの目標と方向を明らかにすることで、市民や各種団体などが主体的にまちづくりに取り組む上での指針となり、国や県などとの相互の連携と調整を図る指針となる計画です。

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成します。

基本構想では、大野市の将来像やまちづくりの目標を設定しています。基本構想の期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間です。

基本計画では、基本構想に沿って必要な施策や事業を体系的に示しています。後期基本計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間です。

第5次大野市総合計画 後期基本計画 概要版

C O N T E N T S

基本構想

将来像	4
将来の見通し	4
総合計画の体系	6

後期基本計画「越前おおの元気プラン」

優しく賢くたくましい大野人が育つまち	8
共に思いやり支え合う安全で安心なまち	10
誰もが快適で暮らしやすいまち	12
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	14
美しく豊かな自然環境を育み継承するまち	16
基本構想実現に向けた行政運営	18

どんなまちを目指すの？

第五次大野市総合計画は、平成32年度までを期間とした本市の長期的なまちづくりの方向性を示す市政の根幹となる計画で、将来の目標の実現に向かって取り組んでいくための指針となるものです。

将来像 大野市を目指す2020年のまちの姿

「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」

ひかりかがやき

人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などは大野市が全国に誇ることができる魅力です。
魅力のある素材のすべてが磨かれています。

たくましく

おおのびと
大野人は、純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と雪国特有の粘り強さを併せ持っています。大野人の良さを保ち続けるとともに、大野の魅力を発揮する人と産業がたくましく育っています。

心ふれあう

子どもから高齢者まで、人と人との触れ合いや共に語り合うことを大切に、互いに学び、働き、憩うことで、心が満ちてゆとりがあります。
人情味があふれるもてなしの心で、訪れてくれる人とも交流が深まっています。

将来の見通し

①目標人口 32,000人

第五次大野市総合計画策定時において、国立社会保障・人口問題研究所による大野市の2020（平成32）年の将来推計人口は31,650人と予測されていました。

基本構想では、この予測値を基に政策的要因として、中部縦貫自動車道の一部供用開始や、国道158号、保健・医療・福祉サービス拠点施設などの社会基盤整備が進むことなどによる、若者と元気な高齢者の人口増を見込み、目標人口を33,000人と設定しました。その目標に向かって都市基盤の整備や定住促進などを行ってきました。

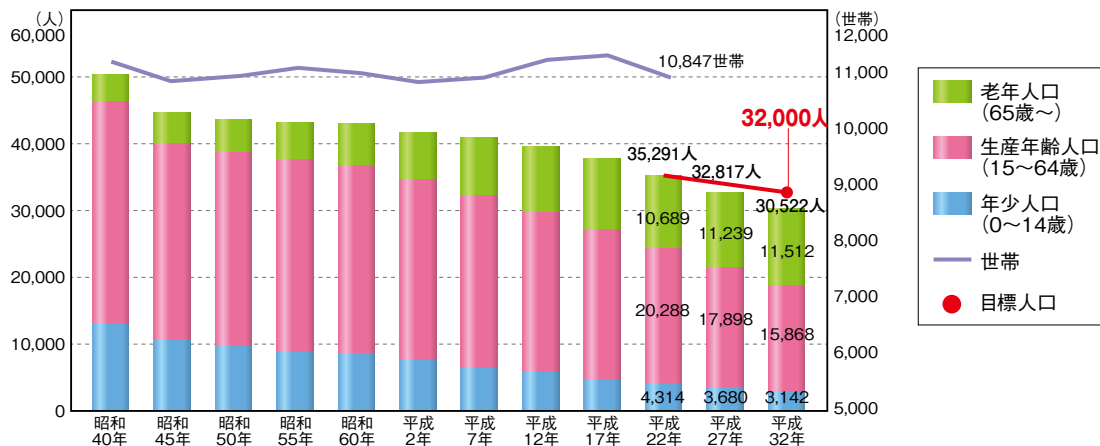
しかしながら、平成25年3月の同研究所による予測では、2020年の将来推計人口は30,522人となり、予測以上に人口減少が進んでいる状況にあります。

後期基本計画では、前期基本計画からの継続した効果的な施策の実施に加え、より一層の地方創生・人口減少対策への取り組みによる人口減少の抑制を見込み、目標人口を32,000人と設定します。



人口・世帯数の推移と見通し

(資料：国勢調査。平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計)



② 目標ふれあい交流人口 38,000人

大野市独自の見通しとして、人口に1日当たりの大野市外からの来訪者数を加えた「ふれあい交流人口」の見通しを取り入れています。

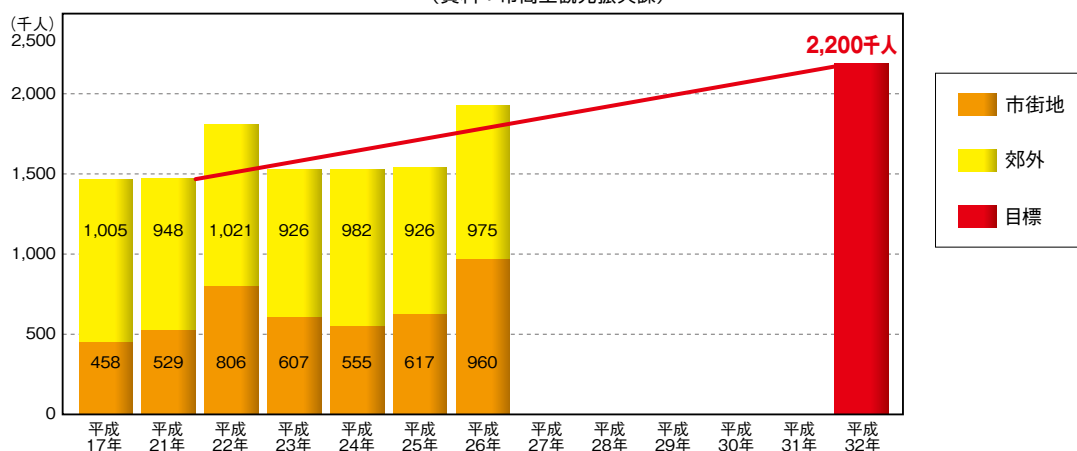
第五次大野市総合計画策定時の大野市の年間観光入り込み客数は、150万人前後で横ばい状況にありましたが、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などの地域資源を磨きつつ有機的に連携させ、中部縦貫自動車道の一部供用開始など社会基盤が整うことで、観光客の大幅増を見込み、目標年間観光入り込み客数を200万人(1日当たり約5,000人)と設定し、目標ふれあい交流人口を38,000人と設定しました。

平成26年においては、「結の故郷発祥祭」による年間を通じたイベントの開催や、「天空の城越前大野城」のPR効果などにより、年間観光入り込み客数は193万人でした。

後期基本計画では、さらなる観光客数の増加に向けた取り組みを進め、目標年間観光入り込み客数を220万人(1日当たり約6,000人)と設定することとし、目標人口と合わせた目標ふれあい交流人口は現状維持の38,000人と設定します。

観光入り込み客数の推移と見通し

(資料：市商工観光振興課)



③ 土地利用

土地利用の基本方針は、①大野の特性を生かした土地利用、②自然と共生する土地利用、③安全で快適な土地利用の3点とします。

総合計画の体系

将来像

ひかりかがやき、たく

人が元気

構想実現
のための柱

基本
目標

優しく賢くたくましい
大野人が育つまち

共に思いやり支え合う
安全で安心なまち

誰もが快適で
暮らしやすいまち

1 結の心あふれる人づくり

2 豊かな心を育てる文化力の育成

3 活力あふれるスポーツ社会の実現

4 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催

5 共に力を合わせるふるさとづくり

6 高齢者の安全安心の確保と社会参加の促進

7 障害のある人への支援

8 子どもと子育て家庭への支援

9 保健予防と地域医療の推進

10 共に支え合う地域福祉の推進

11 災害に強いまちづくりの推進

12 防災・消防基盤の整備

13 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進

14 中部縦貫自動車道の整備促進

15 幹線道路網の整備

16 人にやさしい道路環境の創出

17 快適な生活関連の基盤整備

18 快適な住宅の整備

19 高度情報化の推進

基本
施策

基本
計画

重点
プロジェクト



「結の故郷」づくりの推進



大野人の育成



地方創生・人口減少
対策への取り組み



中部縦貫自動車道
の整備促進



ましく、心ふれあうまち

産業が元気

自然が元気

行財政改革

越前おおのの魅力あふれる
活力あるまち

美しく豊かな自然環境を
育み継承するまち

基本構想実現に
向けた行政運営

20 公共交通手段の確保

21 雪に強いまちづくり

22 越前おおのブランド戦略の推進

23 越前おおの型農業の推進

24 森林整備の推進と持続可能な林業の振興

25 中心市街地の活性化

26 戦略的な観光の推進

27 地域間交流の推進

28 定住の促進

29 雇用の確保と働く環境の整備

30 地下水の保全と湧水文化の再生

31 豊かな自然環境の保全と創出

32 快適な生活環境の保全

33 良好なふるさと景観の形成

34 次世代につなぐ持続可能な社会の形成

35 人口減少対策と地方創生の推進

36 市民総参加・協働型の市政の推進

37 情報化社会に対応した市政の推進

38 健全な行財政の推進



持続可能な農林業の推進



中心市街地の活性化



観光の振興

優しく賢くたくましい 大野人が育つまち

粘り強さや厚い人情、進取の気象など古くから育まれてきた大野人^{おおのびと}ならではの良さが、ややもすると失われつつある中、良いものを生かし新しいことにも果敢に挑戦する気象を受け継ぐことが必要です。

このため、人と人との触れ合いを深め、語り合いを大切にし、一人一人が人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など多くの魅力を持つ郷土に愛着を持ち、生涯を通じて学ぶことのできる教育環境の充実に努めます。

また、地域の個性が感じられるまちづくりを目指し、市民自らが地域への誇りを持ちながらさまざまな活動ができるよう、人材育成や地域貢献活動への支援に取り組み、市民力・地域力の向上を図ります。

基本施策1 結の心あふれる人づくり

- 施策1 ふるさとに根ざした特色ある学校づくり
- 施策2 生涯学習の推進
- 施策3 家庭の教育力、地域の教育力の充実
- 施策4 心豊かな青少年の育成
- 施策5 国際化・情報化に対応できる人づくり
- 施策6 小中学校等の適正規模化

基本施策2 豊かな心を育てる文化力の育成

- 施策1 文化的遺産の保存と活用
- 施策2 文化芸術の振興
- 施策3 文化施設の整備と充実

基本施策3 活力あふれるスポーツ社会の実現

- 施策1 生涯スポーツの推進
- 施策2 競技力の向上
- 施策3 スポーツ施設の整備と充実

基本施策4 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催

- 施策1 福井しあわせ元気国体などの円滑な準備と運営
- 施策2 福井しあわせ元気国体などを契機とした取り組み

基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり

- 施策1 市民力・地域力向上の仕組みづくり
- 施策2 市民協働の推進
- 施策3 男女共同参画社会の推進
- 施策4 女性が活躍できる環境整備
- 施策5 人権尊重社会の実現





指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
図書館の来館者数	図書館の年間延べ来館者数	—	87,500	人
公民館講座・ 教室受講者数	各公民館で開催する講座や教室の年 間延べ受講者数	24,428	27,500	人
国際交流講座開催数	各公民館や生涯学習センターで開催 する国際交流講座の開催数	10	20	回
ICT機器の活用率	デジタル教科書などが配備された学 年における授業日数に対するICT機 器を活用した日数の割合	—	100	%
「将来の目標や夢を 持っている」割合	「将来の夢や目標を持っている」 小学校6年生、中学校3年生の割合	小学校92 中学校72	小学校100 中学校100	%
指定等文化財件数	国指定、国登録、県指定、市指定の文 化財件数	135	141	件
公演などの開催回数	市が支援する音楽会や演劇などの文 化公演の年間実施回数	15	16	回
みんなでスポーツ 参加者数	スポーツ教室「みんなでスポーツ」へ の年間参加者数	2,149	2,500	人
スポーツ施設の 利用者数	体育館などの年間利用者数	286,971	300,000	人
協働のモデル事業	市民協働推進事業の年間件数（市民 協働型・行政提案型）	2	4	件
人権関係の啓発活動	人権啓発活動の年間開催回数	19	20	回



共に思いやり支え合う 安全で安心なまち

少子化・高齢化や核家族化が進む中、安全で安心なまちを実現するためには、福祉や保健、医療、防災などの分野において、地域内における住民相互の助け合いや連携が必要となっています。

このため、すべての人が生涯を通じて安心して暮らせるよう、高齢者と障害者の自立や子育てを社会全体で支え合う地域福祉の推進に努めます。

また、健やかで充実した生活ができるよう、健康づくりや介護予防に心掛けるなど、健康への意識の向上を図るとともに、医療機関や行政の連携に市民が協力する地域医療体制の確立を目指します。

さらに、災害に強いまち、事故や犯罪、消費者被害がないまちを目指し、防災と消防の基盤整備を進めるとともに、地域内で活動する団体や組織を育成し、互いに呼び掛け合い助け合うことで、防止・抑止意識の向上を図ります。

基本施策6 高齢者の安全安心の確保と社会参加の促進

- 施策1 高齢者の支援体制の充実
- 施策2 高齢者の交流活動の促進
- 施策3 高齢者の活躍の場の創出

基本施策7 障害のある人への支援

- 施策1 障害のある人への理解の促進
- 施策2 障害福祉サービスなどの提供と支援体制の充実
- 施策3 児童デイサービスセンターの充実

基本施策8 子どもと子育て家庭への支援

- 施策1 子育て支援サービスの充実
- 施策2 保育サービスの充実
- 施策3 子どもの良好な生活環境の確保
- 施策4 婚活に関する支援

基本施策9 保健予防と地域医療の推進

- 施策1 健康づくりと保健予防の充実
- 施策2 特定健康診査や特定保健指導などの推進
- 施策3 地域医療体制の充実

基本施策10 共に支え合う地域福祉の推進

- 施策1 保健・医療・福祉ネットワークの連携強化
- 施策2 見守り体制の整備
- 施策3 ボランティアの育成

基本施策11 災害に強いまちづくりの推進

- 施策1 危機管理体制の強化
- 施策2 地域防災力の強化
- 施策3 救急体制の充実強化
- 施策4 広域による消防体制の確立
- 施策5 情報伝達手段の充実

基本施策12 防災・消防基盤の整備

- 施策1 治山・治水による安全の確保
- 施策2 建物の耐震化
- 施策3 消防施設・設備の充実
- 施策4 災害や緊急時に備えた飲料水の確保
- 施策5 防災拠点の整備充実
- 施策6 空き家対策

基本施策13 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進

- 施策1 地域防犯力の強化
- 施策2 交通安全対策の推進
- 施策3 消費者生活の安全の確保

成果指標一覧

指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
要介護認定率	大野市における要介護認定率	19.2	22.5以下	%
サロンの参加人数	お出かけほっとサロン事業及び高齢者ふれあいサロンの参加人数	18,700	22,000	人
雇用が促進された高齢者の数	特定求職者の雇用支援により雇用された高齢者の累積人数	6	30	人
障害者相談支援センター相談件数	福祉サービスの利用支援等の年間相談件数	3,153	3,300	件
障害者が一般就労した件数	ハローワーク大野を通して就職した年間件数	23	35	件
児童デイサービスセンター利用件数	くれよん教室を利用した年間療育件数	723	750	件
地域子育て支援センターの利用者数	子育て支援センター登録児童数	421	430	人
婚活セミナー参加者数	婚活セミナーに参加した独身者の年間延べ人数	187	250	人
特定健康診査の実施率	国民健康保険加入者で40～74歳の特定健康診査実施率	39.5	60.0	%
特定保健指導実施率	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人に対する保健指導実施率	22.0	60.0	%
かかりつけ医の浸透率	市内にかかりつけ医を持つ人の割合 (概ね65歳以上)	74.5	83.0	%
自立相談支援センター相談件数	自立相談支援センターで受付けた年間相談件数	—	60	件
ボランティア派遣者数	ボランティアの年間派遣者数	98	120	人
自主防災組織の結成率	全行政区に対する自主防災組織を結成した行政区の割合	93	100	%
普通救命講習の受講率	生産年齢人口に対する普通救命講習受講者の割合	16	26	%
里山砂防事業の実施箇所	里山砂防事業実施箇所数	1	2	箇所
住宅の耐震化率	人が居住している住宅数に対する耐震性を有する住宅数の割合	69	79	%
消防水利の充足率	消防水利が足りているエリアの割合	54.5	65.0	%
被災者用トイレ環境の整備	被災者が衛生的に安心して使用できる非常用トイレの確保数	0	50	基
被災者の安心感の向上	被災者の生活に必要な物品、救助用資機材の点検	1	1	回/年
周囲に影響のある管理不全な空家等の戸数	空家等所有者への適切な管理の指導	96	90	戸
刑法犯認知件数	大野市における刑法犯認知年間件数	120 (26年)	100以下	件
消費者相談センター相談件数	消費者相談センターに相談があった事前相談、問い合わせへの助言、相手方とのあっせん(協議)などの年間件数	215	260	件

誰もが快適で暮らしやすいまち

産業を支え、働く人や暮らす人を支えるとともに、多彩な交流を進めるためには、まちの動脈となる幹線道路の整備や公共交通の確保、基盤となる施設の整備が不可欠です。

このため、中部縦貫自動車道や国道158号をはじめとする幹線道路の早期の整備促進、より良い生活環境づくりのための上下水道整備、快適な道路空間づくり、情報通信基盤の整備など、必要な社会資本整備を進めます。

また、中部縦貫自動車道の開通を見据え、「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の実現に取り組みます。

さらに、高齢者や学生など移動制約者にとって必要不可欠な公共交通の確保に努めるとともに、共助による除雪の体制づくりを進めるなど、訪れる人にも暮らす人にも快適なまちづくりを目指します。



基本施策14 中部縦貫自動車道の整備促進

- 施策1 中部縦貫自動車道の整備促進
- 施策2 「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核となる施設の整備

基本施策15 幹線道路網の整備

- 施策1 国道158号の整備促進
- 施策2 国道157号大野バイパスの整備充実
- 施策3 国道476号や主要地方道などの整備促進

基本施策16 人にやさしい道路環境の創出

- 施策1 生活道路の管理と整備
- 施策2 橋の長寿命化
- 施策3 誰にもやさしい道路整備
- 施策4 自転車走行空間の整備

基本施策17 快適な生活関連の基盤整備

- 施策1 水道の整備
- 施策2 下水道の整備
- 施策3 公園の整備

基本施策18 快適な住宅の整備

- 施策1 高齢者や障害者に対応する住宅の整備促進
- 施策2 中心市街地の居住促進
- 施策3 公的賃貸住宅の施設整備・改善

基本施策19 高度情報化の推進

- 施策1 情報通信基盤の整備
- 施策2 情報リテラシーの向上

基本施策20 公共交通手段の確保

- 施策1 バス運行の充実
- 施策2 JR越美北線の利用促進

基本施策21 雪に強いまちづくり

- 施策1 雪に強い道路づくり
- 施策2 雪に強いまちづくりの推進



成果指標一覧

指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線開通	全区間の1日も早い供用開始	大野東～和泉間の工事着手	大野～油坂間の一部供用開始	—
「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」における核となる施設の整備	重点道の駅「(仮称) 結の故郷」の整備	「重点道の駅」に選定	供用開始	—
国道158号境寺・計石間の供用開始	境寺・計石間の全線供用開始	工事未着工	供用開始	—
西部アクセス道路の供用開始	西部アクセス道路の供用開始	事業化	供用開始	—
都市計画道路中保中野大橋線の整備	中挾交差点から国道157号までの県道整備事業着手	未着手	事業化	—
市道の改良率	市道の実延長に対する改良済みの延長の割合	82.5	83.0	%
橋梁補修数	長寿命化のための補修を行った橋の数	9	15	橋
歩道のバリアフリー率	歩道の総延長に対するバリアフリー工事を実施した延長の割合	40.4	41.9	%
上水道の有収率	給水する水量と料金として収入のあった水量との比率	68.9	75.0	%
公共下水道整備率	公共下水道の全体計画区域面積に対する整備済みの面積	54.5	78.1	%
合併処理浄化槽設置数	補助金を交付した合併処理浄化槽の各年度までの累積設置数	1,595	1,778	基
高齢者等賃貸住宅家賃補助件数	高齢者などに対する賃貸住宅家賃補助の年間件数	48	64	件
観光Wi-Fiステーションの設置個所数	観光客を対象とした無料Wi-Fiステーションの設置	0	15	個所
大野市内バス乗客数	大野市内バスの年間乗客数	35,425	36,000	人
広域路線バス乗客数	広域路線バスの年間乗客数	284,451	285,000	人
越美北線の乗客数	越美北線の年間乗客数	336,378	347,000	人
流雪溝の整備	流雪溝の整備延長距離数	87,403	88,000	m
降雪期前の雪下ろし作業者登録者数	降雪期前の屋根雪下ろし作業者登録者数	123	200	人

越前おおのの魅力あふれる 活力あるまち

ますます厳しさが増す経済状況の中、まちの活力を高めるためには、大野市ならではの魅力に着目し、機会を確実に捉えつつ、人や経済の流れを絶えずつくり出し、市民所得を生み出していくことが大切です。

このため、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など大野市の魅力を発揮させる「越前おおの総ブランド化」を展開するとともに、「越前おおの型農業」の確立による農業の活性化と、森林が持つ観光資源や癒しの場としての機能も十分発揮できるよう林業の活性化に努めます。

また、中心市街地活性化を推進し、新たな観光戦略づくりや新たな地域資源の発掘に努めることにより、交流人口の拡大を図ります。

さらに、越前おおの魅力を発揮できる企業の誘致や新たな産業の育成による雇用の確保と、子育てと仕事が両立できる雇用環境の整備に努めます。

基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進

- 施策1 越前おおのブランドの推進
- 施策2 越前おおのブランドの発信
- 施策3 越前おおの産地保証制度の推進
- 施策4 特産品や地場産材などの利用促進
- 施策5 越前おおの食の伝承と活用推進



基本施策23 越前おおの型農業の推進

- 施策1 農業と農山村の活性化対策
- 施策2 多様な経営体の共生による農業の振興
- 施策3 農産物の総ブランド化の推進
- 施策4 農地の適正な管理と農業基盤整備の推進
- 施策5 鳥獣被害のない里づくりの推進

基本施策24 森林整備の推進と持続可能な林業の振興

- 施策1 適正な森林整備と地元産材の木質発電などへの活用促進
- 施策2 林業の担い手育成
- 施策3 林業活性化のための林業生産基盤施設の整備
- 施策4 特産林産物の生産促進

基本施策25 中心市街地の活性化

- 施策1 越前おおの結ステーションを中心とした周辺広場などの利活用
- 施策2 “まちなか”満足度の向上
- 施策3 魅力ある商店街の形成と商業の活性化
- 施策4 歴史的なまち並みの保全や観光施設の整備
- 施策5 集約型まちづくりの推進

基本施策26 戦略的な観光の推進

- 施策1 観光資源の活用と滞在型観光の推進
- 施策2 イベントの充実と広報の推進
- 施策3 広域連携による周遊観光の推進
- 施策4 エコ・グリーンツーリズムの推進
- 施策5 国際観光の推進

基本施策27 地域間交流の推進

- 施策1 広域的な交流の促進

基本施策28 定住の促進

- 施策1 定住情報の提供とサポート体制の強化
- 施策2 定住促進対策
- 施策3 空き家の利活用の促進

基本施策29 雇用の確保と働く環境の整備

- 施策1 積極的な企業誘致
- 施策2 産業の育成による雇用の確保
- 施策3 生き生き働く職場環境の整備促進
- 施策4 生涯現役への就労支援



成果指標一覧

指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
ブランド発信にかかわる人数	越前おおのブランド大使、ゆいびとファンクラブ、観光ボランティアの総人数	569	750	人
里の恵み認証登録者数	「越前おおの里の恵み」認証の登録者数	31	60	人
産地保証登録者数	「越前おおの産」産地保証の登録者数	105	150	人
活性化に取り組む集落数	活性化モデル集落への累積支援数	18	30	団体
新規就農者数	新規就農を支援した人の累積人数	21	30	人
特産作物の生産拡大	生産拡大のため機械購入を支援した累積数	9	45	件
特産作物の生産促進	里芋、ナス、ネギ、キクの作付面積	里芋 111 ナス 3.9 ネギ 35 キク 14	里芋 130 ナス 13 ネギ 40 キク 16	ha
環境調和型農業の実践	有機JAS、福井県特別栽培農産物認証制度の実践者数	JAS 7 県特裁 64	JAS 10 県特裁 80	人 経営体
耕作放棄地の再生	農地への再生累積面積	1.3	2.2	ha
農道舗装整備率	実農道延長に対する舗装済延長の割合	87.6	90.0	%
有害鳥獣被害の防止	防護柵の延長	163,000	181,000	m
間伐材搬出材積	間伐材の搬出材積	12,793	28,000	m³
林業作業士育成数	森林組合で働く林業作業士数	33	46	人
林道舗装率	林道の舗装率	45.82	48.34	%
まいたけ生産	特用林産物生産・加工施設における、まいたけ生産量	92	150	t
市街地の観光入り込み客数	大野市を訪れる観光客の総数のうち、市街地への年間入り込み客数	65.9 (過去5年の平均)	88	万人
歩行者通行量	まちなか7地点における歩行者通行量(秋・イベントのない休日)	4,233	5,000	人
観光入り込み客数	大野市を訪れる観光客の年間総数	193万(26年)	220万	人
交流を行う自治体数	自治体間において、姉妹都市など交流に関する協定を締結し、交流している自治体数	13	15	自治体
定住受け入れ件数	平成20年度以降にIJU(移住)サポートチームが支援し、大野市外から大野市に定住した累積件数	34	64	件
定住のための住宅取得等助成件数	定住のための住宅取得及びリフォームに対する助成の累積件数	201	350	件
空き家情報バンク制度成約件数	空き家情報バンクの契約成立累積件数	9	20	件
創業者数	市の支援策による創業者累積数	2	10	人
女性起業家・経営者の数	市の支援策による女性起業家・経営者累積数	1	5	人
育児休業取組事業所数	育児休業取得制度に取り組む中小企業累積数	4	25	事業所

美しく豊かな自然環境を 育み継承するまち

先人から受け継いだ恵まれた自然環境を後世に伝えていくため、市民一人一人が主体となって、美しく豊かな水や緑を大切に守り育てていく必要があります。

このため、水を育む森林や私たちの身近にある里地里山、里川の保全とともに、地下水の保全や御清水を代表とする湧水の再生に取り組み、良好な水環境や越前おおのらしい景観を形成します。さらには、観光や交流に向けて、これら地域資源の有効な活用を図ります。

また、市民、企業への環境保全意識の啓発や子どもたちへの環境教育を進めるなど、環境を守り育てる人づくりに取り組みながら、自然環境への負荷が少ない低炭素社会と資源循環型社会の形成を目指します。

基本施策30 地下水の保全と湧水文化の再生

施策1 地下水保全活動の啓発と支援 施策2 地下水の保全 施策3 湧水文化の再生

基本施策31 豊かな自然環境の保全と創出

施策1 農山村の自然環境の保全 施策2 森林の保全
施策3 生態系、自然環境に配慮した水路の整備 施策4 河川の自然再生と親水環境の創出
施策5 化石の保全と活用

基本施策32 快適な生活環境の保全

施策1 河川や地下水の水質保全 施策2 公害の防止と環境美化の推進

基本施策33 良好なふるさと景観の形成

施策1 まちなか景観の保全と形成 施策2 屋外広告物の改善とデザインコントロール
施策3 田園・山村景観の保全と形成

基本施策34 次世代につなぐ持続可能な社会の形成

施策1 低炭素社会づくりの推進 施策2 循環型社会づくりの推進 施策3 バイオマスの利活用



成果指標一覧

指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
11月の平均地下水位	大野市地下水保全管理計画に基づく、3カ所の基準観測井における11月の平均地下水位	御清水観測井 1.02 春日公園観測井 5.08 菖蒲池（浅井戸）観測井 6.49 (過去5年間の平均)	1.20未満 5.50未満 7.00未満	m
地域で設置された自然環境に配慮した施設の設置数	農地や水、農村環境の保全活動により設置された生態系に配慮した施設の累積数	11	17	カ所
森づくりイベントへの参加者数	森づくりイベントに参加した年間延べ人数	436	520	人
化石発掘体験者数	大野市内で化石発掘を体験した年間延べ人数	2,984	5,000	人
和泉郷土資料館での企画展の開催	化石に関する企画展の年間実施回数	0	1	回
水質基準を達成した河川の数	市が実施する11河川の水質検査結果において、環境基本計画で設定した水質基準を満たした河川数	11	11	河川
水洗化率	公共下水道加入人口、農業集落排水加入人口および合併処理浄化槽設置人口を足して大野市人口で割った率	51.0	65.4	%
違法な野外焼却に係る苦情件数	廃棄物などの違法な野外焼却についての苦情件数	7	0	件/年
芝桜などの植栽面積	芝桜などの累計植栽面積	330,000	500,000	m ²
1人1日当たりのごみの排出量	市民1人1日当たりのごみ排出量	875	850	g/人・日
ごみの資源化率	ペットボトルや空き缶、紙類などの分別収集や集団回収により一般廃棄物を資源化した率	24.5	26.0	%
堆肥の購入量	市内堆肥製造施設から市内農業者等が購入した堆肥量	2,846.60	4,100	m ³

基本構想実現に向けた行政運営

人口減少社会が到来し、高齢化が進む中、複雑化・多様化する市民ニーズに的確に応えるとともに、地域主権の時代にも対応できる行政の体制を整えることが求められています。

このため、これまでの行政主導の市政から、開かれた市民総参加・協働型の市政へ転換する必要があります。

また、日々進歩する情報化社会への速やかな対応や地域主権の時代を見据えた行財政システムの構築などにも取り組まなければなりません。

本構想に掲げる5つの基本目標を実現するため、次の事項を積極的に推進していきます。

基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進

施策1 推進体制の確立 施策2 総合戦略に基づく事業の推進

基本施策36 市民総参加・協働型の市政の推進

施策1 市民力・地域力の向上 施策2 広報の充実
施策3 市民が利用しやすい行政サービスの推進 施策4 情報公開制度などの充実

基本施策37 情報化社会に対応した市政の推進

施策1 市民と行政の情報の共有化 施策2 大野市外に向けた魅力ある情報の発信
施策3 高度情報化への対応 施策4 社会保障・税番号制度への対応

基本施策38 健全な行財政の推進

施策1 継続的な行政改革の推進 施策2 職員力・組織力の強化 施策3 健全で柔軟な財政運営



行財政改革

成果指標一覧

指 標	内 容	平成26年度 現 状	平成32年度 目 標	単位
パブリックコメント案件 1件当たりの意見数	パブリックコメント制度を実施した案件1件当たりの提出された意見の数	2.8	8	件
オープンデータ数	2次利用可能な形で市が公開したデータの数	3	15	件
施設予約システムでの 利用可能施設数	「ふくe-ねっと」を利用して予約可能な施設数	4	10	施設
電子申請システムでの 利用可能手続数	「ふくe-ねっと」を利用して申請可能な手続数	18	40	件
市ホームページアクセス 件数	市ホームページにアクセスした延べ件数	305,916	370,000	件



ひかりかがやき、
たくましく、
心ふれあうまち

